



令和2年2月20日

## 令和元年度『学校評価』の総括

学校は、行っている教育活動を多くの方々に見て評価していただきながら、改善を図っていくことが重要だと考えています。本年度も、保護者の皆さまには、お忙しい中、本校の教育活動について2回評価していただき、ご意見をお寄せいただきました。誠にありがとうございました。

お寄せいただきました評価・ご意見については、よりよいものにしていくため、職員と協議していきたいと考えています。貴重なご意見、本当にありがとうございました。

### 令和元年度の本校の学校教育目標 「もう一つ上の自分に！」～笑顔あふれる弘道っ子～

そのために大切にしているもの（基本方針）

- ①あたまの力
- ②こころの力
- ③からだの力
- ④支援の要らない子は一人もいない（特別支援教育の充実）
- ⑤歴史あるふるさと出石に誇りをもち、「出石が大好き」な子どもの育成
- ⑥いのちを大切にしたい安全・安心な取組の実施と教育環境づくり
- ⑦保護者や地域から信頼され、支えられる学校へ（内外に学校を開く）



保護者の皆様の評価と教職員がこの項目に対してどの程度指導できたか自己評価したものとを今年度も比較してみました。

評価項目 4…そう思う, 3…だいたいそう思う, 2…あまりそう思わない, 1…思わない	保護者平均 【H30比】	学校(教職員)平均 【H30比】
1 学校は、基本的な学力が身に付くような分かりやすい授業をしている。	3.3 →	3.1 ↑
2 学校は、子どもの興味や意欲を高める授業を工夫している。	3.2 →	3.1 →
3 学校は、児童一人一人の個性を理解し、豊かな心を育む教育を大切にしている。	3.1 ↑	3.4 ↑
4 学校は、いじめのない学級づくりや人権意識の育成に取り組んでいる。	3.2 ↑	3.4 ↑
5 学校は、相談事に対して、面談や相談等の場を設けて適切に対応している。	3.3 ↑	3.2 ↑
6 学校は、出石の歴史・伝統文化・自然環境と直接にふれ合う体験活動を展開している。	3.6 ↑	3.0 ↓
7 学校は、防犯・防災・生活指導の中で、自らの命を守る安全教育をすすめている。	3.3 ↑	3.2 ↑
8 学校は、家庭・地域と連携を密にしている。	3.2 →	2.9 ↑
9 学校は、学校・学級だよりやブログ等で教育活動や子どもの様子を情報発信している。	3.6 →	3.5 ↓
10 わが子は、家庭や地域でのあいさつができています。	3.0 ↓	3.4 ↓
11 わが子は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。	3.1 ↓	3.5 ↑
12 わが子は、学校のきまり（弘道っ子のくらし）をしっかり守って生活している。	3.2 →	3.3 ↑
13 わが子は、家庭学習をすすんで取り組んでいる。	2.8 ↓	2.8 ↓
14 わが子は、家庭内ですすんで本を開き、読書に親しんでいる時間がある。	2.6 →	3.0 ↓
15 わが子は、楽しく学校生活を送っている。	3.3 →	3.1 →

- 前年度と比較したら、上昇した取組が13項目、下降した項目が8項目という結果でした。改善に向けて一定の成果はあったと考えています。  
しかしながら、本校において何とか改善を図りたい⑮「楽しく学校生活を送っている」の項目で、昨年度と同等という結果となりました。児童が「楽しくない」と答える要因は、どこにあるのか把握し、それに対応していかねばならないと考えています。学校の教育目標である「笑顔あふれる」学校にするために、今後も全力で取り組んでいきます。
- 毎年課題となっている⑬「家庭学習」⑭「家庭での読書」は、今年度も課題として残りました。ゲーム、テレビ、インターネットと、子どもたちだけじゃなく、大人にとっても、楽しめる媒体がたくさんある中、読書というのはなかなか難しいと思います。しかし、例えば、図書ボランティアさんがしてくださる読み聞かせはどの子どもも大好きです。すごく集中して聴いています。また、本を読むのがあまり好きでない子ども、読んでいるうちに、楽しくなっていくものです。5分でも10分でもいいので、お父さん、お母さんと一緒に読書タイムがもてるといいなと思っています。

### 【お寄せいただきました主なご意見】

- ◆①毎日、繰り返し計算？のような宿題が出ます。とつてもよい取組だと思うので、全学年に広がればいいなと思います。
- ◆②姿勢が良ければ何か変わるのではないかと思います。
- ◆③強い心と体力づくりのため、マラソン大会等があればよいと思う。
- ◆④毎日、「今日は学校どうだった？」と話す、「おもしろくなかった」という言葉が返ってきます。対策を！



#### ⇒ 学校からの回答 . . . .

- ◇①今年度から10時30分から5分間、全学年で『ドリルタイム』という時間を設け、基礎的な計算技能の定着と向上を目指しています。継続は力なり！令和2年度も続けていきます。
- ◇②姿勢の悪さにメスを入れようと、体幹トレーニングの導入を検討中です。
- ◇③教科の学習内容との関連もあり、全校での実施は難しい状況にあります。ご指摘の部分は本校の課題であるため、何らかの対策が必要であると実感しています。
- ◇④本当に申し訳ありません。子どもたちにこういう思いを抱かせていることを反省しなければいけないと思っています。一人一人の子どもたちの思いに寄り添った教育に努めていきます。

## PTA 教育講演会 -2.18 (Tue) - 『辰鼓樓のひみつ』

自分の住む出石のことをどれだけ知っていますか???

知っているようで、実は、知らないことがたくさんあるのが実態だと思います。

2月18日(火)に開催したPTA文化部による教育講演会は、まさに、その場であったと思います。校区にお住まいの郷土史家の 中村 英夫さん におこしいただき、私たちの知らない辰鼓樓の裏話を聴かせていただきました。もちろん、中村さんはたくさんの方々のデータをおもちなので、辰鼓樓だけでなく、出石の町についてのお話をしてくださりました。

先日、少し恐ろしい話を目にしました。100年後の日本という話です。100年後の日本は、なんと、5つの都道府県しか残らないというのです。東京、大阪、愛知、埼玉、神奈川の5つです。人口減少が加速化し、都市に人口が集中してきて、最終的に5つに集約されてしまうというのです。

私たちのふるさと出石、兵庫を守るためにも、大切なことは、その素晴らしさを知ること。知れば知るほど、好きになり、愛着心も育まれていくことでしょう。みんなで守りましょうね！出石の町を！

